

6月

永源寺

東近江警察署
0748-24-0110

大麻等薬物乱用の防止

覚醒剤や大麻の事件に関連するニュースが後を絶ちません。

近年、全国的に覚醒剤事犯検挙人員が減少傾向、大麻事犯検挙人員が増加傾向にあり、令和5年は大麻事犯検挙人員が覚醒剤事犯検挙人員を上回りました。

県内における令和5年中の薬物事犯検挙人員は76人で、大麻事犯検挙人員が覚醒剤事犯検挙人員を上回り、全国的に大麻事犯が急増しています。

県内における大麻事犯の特徴は、

- ・検挙人員の約8割が10代から20代の若年層であること
- ・約8割が大麻事犯の初犯者であり大麻が若年層に急激に広がっていること

が挙げられます。

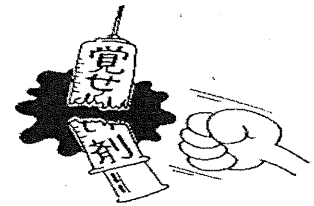
近年の大麻事犯の急増を受けて、薬物に関する法律が改正され、本年中にはこれまでは規制されていなかった大麻の使用罪が規制されることになりました。

大麻等の違法薬物と暴力団とのつながりは依然として根強く、その密売が暴力団の大きな資金源となっています。

薬物に手を出すときのきっかけは多くが友人らに誘われてというものです。

そして、薬物乱用者の多くは、好奇心から軽い気持ちで使い始め、薬物の持つ強い依存性によって、自分の意思ではやめられなくなっています。

薬物には絶対に手を出さないようにしましょう。



特殊詐欺に注意！！

令和5年中の特殊詐欺は、メールや電話でサイトの登録料や高額当選の受取料等の支払いを求める架空料金請求詐欺や、架空料金請求詐欺の手口で、パソコンに「ウイルスに感染」と表示して電子マネーで修理費用を支払わせる、いわゆるサポート詐欺が多発しています。

- パソコン操作中に「ウイルスに感染」と表示が出た
- 携帯電話に「料金確認」「高額当選」というメールが届いた
- 「必ず儲かる」といった投資話をもちかけられた

これは全部詐欺です！！

手口を知って特殊詐欺被害を防ぎましょう



不法就労・不法滞在防止

県内の外国人人口は、昨年未過去最高を記録し、今後も増加が予想されます。

国内には多数の不法滞在者が存在し、その多くが不法に就労しているとみられ、外国人の増加がこれに拍車を掛けることが懸念されます。

不法就労する者は、偽造在留カード等を使って正規の滞在者を装うなど、不法就労・不法滞在をめぐる状況は依然として深刻です。

このような不法就労者等の存在は、様々な問題や事件を引き起こす要因となるほか、不法就労を助長する悪質ブローカー等の介在もみられることから、警察では不法就労・不法滞在に対する取締りを強化しています。

日本で正規に滞在する外国人との共生や安全・安心なまちづくりのためには、不法就労・不法滞在に関する問題を正しく理解し、その防止を徹底していただくことが重要です。